

# デュッセル NEWS

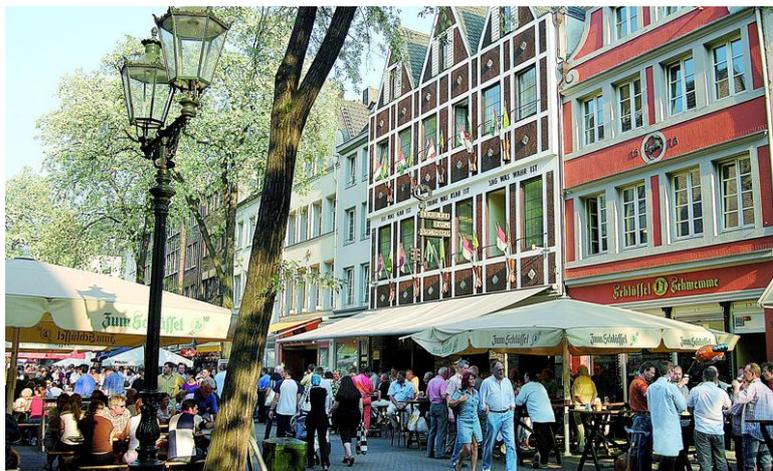
2018年4月号  
No.124



## デュッセルドルフからのニュース

### ようやく春を迎えるデュッセルドルフ

「テラス・シーズン」とは、カフェやレストランなど飲食店が、テーブルと椅子を店の前に出して営業する期間を意味し、通常、3月～10月までとなる。今年の3月は、ドイツの全国平均気温がわずか2.5度で、平年よりも2度以上寒かった。デュッセルドルフが位置するラインランドでは、めったに降らない雪が積もった日もあった。意外なことに、真冬である1月のほうが3.8度で3月より気温は高かった。しかし4月に入ると温度も上がり、春らしい陽気となり、それに誘われて、公園や街へ繰り出す人も増えている。



デュッセルドルフ市内の様子（写真はデュッセルドルフ市より提供）

レストランやクナイッペ（日本で言う飲み屋）は、もう既にテーブルや椅子を店前に出し、顧客獲得に熱心だ。店前が歩道の場合、飲食店は市に対し申請手続きをし、使用料（中心部は1㎡当たり8.8ユーロ/月）を支払う仕組だ。近年、デュッセルドルフ市内では、申請数1,100件を受け、今年も同様の件数を見込んでいる。デュッセルドルフ見本市の滞在中には、ぜひともデュッセルドルフでカフェ、レストランに出かけ、屋外でのドイツ飲食文化を楽しむことをお勧めします！



**ProWein2018ー国際ワイン・アルコール飲料展 出展者・来場者ともに過去最高！初登場のジャパン・パビリオンは大盛況！**



世界最大級の国際ワイン・アルコール飲料展「ProWein 2018」が3月18日～20日の3日間、デュッセルドルフで開催された。総出展者数 6,870 社（64 ヶ国）、総来場者数は 6 万人（133 ヶ国）超を記録し、過去最多となった。イタリア（1,700 社）、フランス（1,550 社）、ドイツ（990 社）を始め、アメリカ、南アフリカ、アルゼンチン、チリ、オーストラリア、ニュージーランド（計 700 社）



と欧州国外からの参加も多く見られた今回の ProWein の見どころは、ドイツ産ワイン。国内外の多くの来場者が 2017 年物のヴィンテージ白ワインを求めに、ドイツの 13 カ所に及ぶワイン生産地域から集結した出展者による豊富なテイastingプログラムを満喫した。

メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンは、今回国税庁事業の一環として、JETROの協力のもと初めて25社からなる日本産酒類プロモーションブースを設置した。各出展者によるプロモーションのほか、ブース内では1) 日本産甲州ワインについて 2) 日本酒レクチャー（基本編） 3) 日本酒レクチャー（上級編～日本酒と燻製のペアリングについて～） 4) 日本酒レクチャー（上級編～日本酒とスイーツのペアリングについて）を開催した。ProWeinでは前例のないコンテンツを起用したことでセミナー参加者の大多数が、弊社実施のアンケートで「Excellent」（弊社アンケート5段階評価のうち最高点である5）と回答していた。「直接講師と連絡を取りたい」、「もっと日本酒について学びたい」、「日本酒とお菓子のペアリングが革新的で、興味深く更に理解を深めたい」、「ペアリングの参考になった」など、大変好意的な感想が多く寄せられた。



ProWein 2018 のファイナル・レポートは[こちら](#)

(担当：カンカナンゲ)

SEINO DB SCHENKER

西濃シエンカー株式会社

デュッセルドルフ展示会  
指定公式運送業者

詳しくは[こちらへ](#)

## 出展者の声



**ProWein 2018** — **国際ワイン・アルコール飲料フェア**  
**2018年3月18日～20日（デュッセルドルフ）**



「さすが、世界最大規模のワイン展示会だけあって、ドイツより世界中からのインポートオファーを頂いた」“梵” — 加藤吉平商店

「パビリオンとして集合することで、集客力と興味をそそられる場所だったと思うので、たくさんの人に日本酒に触れてもらえてよかったです」“白鹿” — 辰馬本家酒造株式会社

「B2Bのメッセらしくプロフェッショナルの意見を多く吸収できる。商売へのスピードも早い」 JFC Deutschland GmbH

出展効果を高める  
通訳・ブースアテンダント  
ご紹介は [こちら](#)

通訳  
450ユーロ/1日  
ブースアテンダント  
280ユーロ/1日



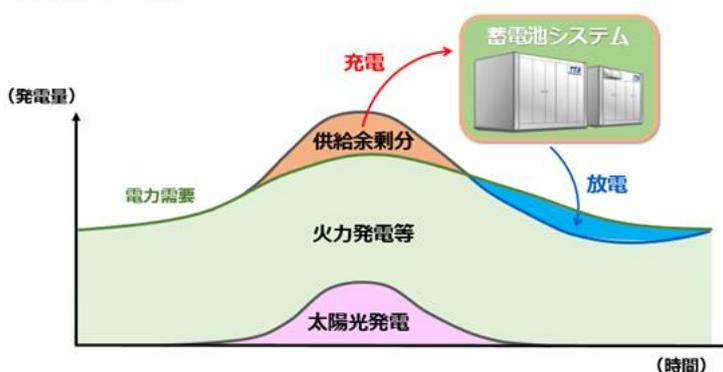
Messe  
Düsseldorf  
Japan

## 電気自動車の普及に不可欠な、もう一つのこと：電池のリユース・リサイクル

E モビリティの普及には数多くのファクターが影響を与える。バッテリーの価格が電気自動車の価格に影響するため、蓄電池のキャパシティーが電気自動車の走行可能距離に影響を与える。電気自動車のためのインフラ（充電ステーション）の有無も関係している。いままでもあまり話題になっていないチャレンジは、電気自動車の蓄電池の（再）利用である。つまり、電気自動車の電池は平均寿命を迎えた後でも、自動車以外の分野で利用が可能だ。環境保護の観点から、利用できなくなった電池にはレアメタルが含まれるので、リサイクルをするのは当然と言える。

日本では、中部電力株式会社とトヨタ自動車株式会社は、電動車の駆動用電池をリユースした大容量蓄電池システムの構築、および使用済み電池のリサイクルについて実証を開始することについて、今年一月末に基本合意書を締結した。中部電力は、再生可能エネルギーの大量導

○蓄電池システムによる電力系統における課題解決例（イメージ）  
①需給調整への活用



入に対し、需給バランスの変動に的確に対応するとともに、電力系統の更なる合理的運用に向けた取り組みを推進するという。トヨタは、電動車の積極的な普及を進めるとともに、電池の有効活用など、電動車の普及を支える社会基盤の整備を目指す。2018年度には蓄電池システムの実証を開始し、2020年度には発電出力約1万kW・電池1万台相当分の導入を目指す。

ドイツではすでに2016年に同じようなプロジェクトが開始された。デュッセルドルフから約100キロに位置するLünen（リューネン）市では、電動車を提供するDaimler社、約1,000個のバッテリーから蓄電システムを構築・運営するMobility House社、Getec社と、リサイクルを実施するRemondis社の4社が提携し、13MWhの規模を持つ蓄電池システムを共同構築。同様の内容で、自動車部品メーカーのBosch社、自動車メーカーのBMW社と電力会社Vattenfall社が、共同で北ドイツのハンブルグ市において実証実験を2016年にスタートした。規模はDaimlerプロジェクトより小さく、2.8MWhだ。

情報とグラフの出典：

[https://www.chuden.co.jp/corporate/publicity/pub\\_release/press/3266975\\_21432.html](https://www.chuden.co.jp/corporate/publicity/pub_release/press/3266975_21432.html);

<https://www.euwid-recycling.de/news/wirtschaft/einzelansicht/Artikel/weltgroesster-stromspeicher-aus-alten-autobatterien-geht-ans-netz.html>;

### メッセ市場ロシア

ロシアの経済は、石油価格の低迷、為替レートの変動と経済制裁を背景に減少したが、2017年から回復傾向にある。ロシア政府は経済成長を強化させるため、輸出促進にも力を入れており、ロシア企業の海外見本市参加をサポートしている。

一方、ロシアのメッセ市場がドイツとかなり違うと言っても過言ではない。ロシアで毎年開催されるメッセは900を超える（ドイツでは2016年に186の国際見本市・国内向け見本市が開催された）。ただ、出展者数は約10万社で（2016年のドイツ：192,094社）、利用した面積はわずか200万㎡（2016年のドイツ：758万㎡）に過ぎない。言い換えると、ロシアでのメッセは数が多いが、規模は大きくない。ドイツでは一般的となった第3者認証システムは、ロシアでは、まだ改善・発展する余地がある。上述の900を超えるメッセの内、認証を受けたものは139しかなく、UFIよりチェックを受けたのは104に留まる。

ロシアのメッセ開催は圧倒的に首都モスクワに集中している：2017年、900メッセの内、300がモスクワで開催された。また、メッセ会場もモスクワが一番多いだけでなく、圧倒的に広い：

- 1番ホール面積が広い会場はクロクス・エキスポ・センター（254,960㎡）、
- 2番目は姉妹会社が長年事務所を置いたエキスポ・センター（105,000㎡）。
- 3番目の会場はVDNHで、わずか40,000㎡のホール面積がある会場。
- 4番目はサンクト・ペテルブルグにあるエキスポ・フォーラム（ホール面積40,000㎡）。

メッセの主催者も数が多いが、トップの5社はすでに43%のマーケットシェアを占める。規模の順番で言うと、

- ① イギリス系のITEグループ
- ② ロシアのZAOエキスポ・センター
- ③ ZAOクロクス社
- ④ ドイツ系のメッセ・デュッセルドルフ・モスクワ
- ⑤ ロシアのレステック

海外の主催者の中で、もっとも歴史があるのはメッセ・デュッセルドルフだ。本社は1963年に初めてモスクワでメッセを開催した！つまり、旧ソ連時代にはすでに経済交流に貢献していた。

ロシアで開催されるメッセは、ドイツの企業にとって重要なビジネス拡大のツールのため、ドイツ政府が引き続き「ドイツ・パビリオン」をサポートし、2017年には合計37の展示会の出展参加に補助金を提供した。

出典：<http://www.auma.de/de/messemarkt/messemaerkteausland/laenderberichte/russland/seiten/wirtschaft.aspx>



今月ご紹介するのは、デュッセルドルフの誇るベンラート城です。フランスの建築家・造園家で、ドイツで活躍したニコラ・ド・ピガージュが、カール・テオドル（バイエルン選帝侯）の依頼によって夏の別荘・狩猟用の館として 1755 年から 1773 年、18 年がかりで建設しました。宮殿と言った方が似合うピンク色の壁面にグレーの屋根が特徴の後期バロック建築の建物で、室内装飾はフランス風ロココ調で眩いばかりの豪華さです。このベンラート城のメインの建物は Museum Corps de Logis という名称で博物館として公開されており、当時を忍ぶ調度品の数々が当時のままのインテリアと合わせて鑑賞できます。かつては使用人の住居であったという両翼の建物は、西側の方が自然史博物館、東側の方が庭園博物館として使用されています。自然博物館は 1929 年に自然郷土博物館として創設されたものが今日の基となっていますが、今では NRW 州の動植物の生態などをジオラマで紹介しています。庭園博物館は必見で、西洋の造園史を展望することができ大変興味深いものです。造園にかかわるあらゆるテーマを 2000 平米 41 室に展示しています。60 ヘクタールに及ぶ広大な庭園は外側を水郷で囲まれており、自然と人為的な計画が絶妙なハーモニーの造園で、そぞろ歩きだけでも素晴らしい経験になることでしょう。以下のような入場時間の制約があるために十分な自由時間が必要となりますが、デュッセルドルフでのお仕事の合間に少し時間の余裕がある方には是非お勧めしたいところです。

入場料は一日券が大人 14€。ドイツ語のガイド付きで、入場時間は火曜日と金曜日の 11 時、12 時半、14 時、16 時。水曜日と木曜日は 11 時、12 時半、14 時、16 時。土曜日と日曜日は 11 時、12 時半、13 時半、14 時、16 時に入場できます。英語のガイドは水曜日から日曜日の 15 時。中央の建物はガイドなしの入場できないため、入場時間は上記に従わなくてはなりません。付属する二つの博物館は上記の値段に含まれています。

一日券を購入しない場合は、中央の建物が 10€ 庭園博物館、自然史博物館 各 6€です。



お城の名称：Schloss Benrath（シュロス・ベンラート）ホームページは[こちら](#)から。

住所：Benrather Schloßallee 100, 40597 Düsseldorf（デュッセルドルフ市南部）

交通：Heinrich-Heine-Allee 駅から U71 で約 30 分。Schloss Benrath 駅下車。

## 出展者募集中のメッセ

### MEDICAL FAIR ASIA 2018 — アジア国際医療機器展



### MEDICAL MANUFACTURING ASIA 2018 — アジア国際医療機器技術

部品展 2018年8月29日～31日（シンガポール）



MEDICA COMPAMED が開催するシンガポールでの医療機器展と部品展（隔年開催）。エリアのディストリビューターだけでなく、現地の大学、研究機関とのコンタクト開拓も可。フルブックングで開催予定。完売次第申込受付終了ですのでお早めにお問い合わせ

ください。前回開催規模：出展 830 社（日本 44 社）、来場 12,000 名。ファイナルレポートは[こちら](#)。会場はマリナ・ベイ・サンズ。（担当：服部）

### INDOPLAS 2018 + indopack 2018 + INDOPRINT 2018



### インドネシア国際プラスチック・ゴム・加工・包装・印刷産業展

2018年9月19日～22日（インドネシア・ジャカルタ）

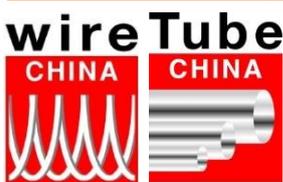


ASEAN 圏最大の市場を有するインドネシア、その首都ジャカルタで開催される、INDOPLAS – indopack – INDOPRINT に、廉価かつ効果的にご参加いただける《ジャパン・エリア》を企画します。ぜひともこの機会に、出展をご検討ください。《ジャパン・エリア》をはじめ、各種ご相談は、[こちら](#)にて。（担当：橋木）

### wire Tube China 2018 中国国際ワイヤー産業展・管材製造加工・



技術展 2018年9月26日～29日（中国・上海）



デュッセルドルフ開催「wire / Tube」展を中国市場へ適用させ、中国・東アジアで業界をリードする専門メッセへと成長して参りました。今回も、「ファスナー展」を更に拡大し独自の見本市として開催致します。また、今回もジャパン・ゾーンを計画中です。出展資料については [wireChina](#) ⇒ と [TubeChina](#) ⇒ をご覧下さい。（担当：ユング）

### REHACARE 2018—国際介護・福祉機器展



2018年9月26日～29日（ドイツ・デュッセルドルフ）



REHACARE は福祉機器や介護、在宅ケアにフォーカスした専門見本市。欧州中心にディストリビューターやユーザーの来場が多く、ビジネス開拓に最適なメッセです。出展申込ご案内は[こちら](#)。申込締切は **4月24日**

（担当：服部）

## indometal 2018 - 東南アジア国際金属・スチール製造・技術展



2018年10月17日～19日（インドネシア・ジャカルタ）



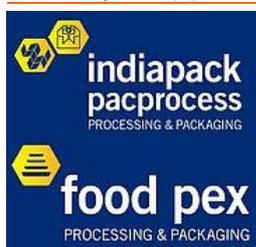
デュッセルドルフ開催の鋳造・冶金・金属産業メッセ運営のノウハウをもとに、現地パートナーとともに [indometal](#) を主催しています。ASEAN 経済圏における鉄・非鉄金属需要の増大が今後も見込まれ、貴社アジア戦略として是非「indometal」の出展ご検討下さい。[各種ご案内](#)（和文案内）（担当： ユング）

## indiapack/pacprocess 2018 - インド国際加工・包装産業展



food pex India 2018 - インド国際食品加工・包装産業展

2018年10月24日～26日（インド・ムンバイ）



インド包装研究所（IIP）との協力関係締結を機に改称、そして国内の主要都市で毎秋の開催となった [indiapack/pacprocess + food pex India](#)、その記念すべき昨年の第1回目に212社が出展、約10,000もの関係者が来場し、好評を博しました。本年秋は、商都ムンバイにて行われます。ぜひ、出展参加をご検討ください！（担当： 橋木）

## All in Print China 2018 - 中国国際印刷技術・機械展



2018年10月24日～28日（中国・上海）



中国、そしてアジアをリードする印刷技術・機械展へと成長した [All in Print China](#) は、《Enter the Era of Intelligent Printing》とのスローガンのもと、本年10月に第7回目を迎えます。お申し込み期限は、2018年5月末でございますが、[お申し込み書をご提出いただいた順に、小間位置をご案内しております](#)ため、出展をご検討のお客さまにおかれましては、ぜひ [お早めにご相談ください](#) ますよう、よろしくお願い致します。（担当： 橋木）

## GIFA / METEC / THERMPROCESS / NEWCAST 2019 - 金属産業展



2019年6月25日～29日（ドイツ・デュッセルドルフ）



4年に一度同時開催され、金属産業にとって最高峰の業界メッセの4展（[国際鋳造技術・機械展 GIFA](#)、[国際金属製造・冶金技術機械 METEC](#)、[国際工業炉・熱応用技術展 THERMPROCESS](#)、[国際精密鋳造品展 NEWCAST](#)）は現在、出展者募集中（**期限4月末**）。ぜひへ出展ご検討下さい。（担当： ユング）

## K 2019 – 国際プラスチック・ゴム産業展



2019年10月16日～23日（ドイツ・デュッセルドルフ）



3年ごとに独・デュッセルドルフで開催される、世界最高峰のプラスチック・ゴム産業展『K』の、次回2019年開催への出展お申し込み期限が、いよいよ来月末 = 5月31日（木）と迫って参りました。機械・素材エリア両方に設置予定の[ジャパン・パビリオン](#)へのお申し込みも、引き続き募っております。全世界から230,000もの関係者が集結する『K 2019』で、貴社の製品・技術を効果的に売り込んでみませんか？各種ご相談は、[こちら](#)へどうぞ。（担当：橋木）

## EuroShop – 国際店舗設備・販売促進展



2020年2月16日～20日（ドイツ・デュッセルドルフ）



3年ごとに開催される、店舗設備・設計・販売促進業界にとってナンバーワンであるEuroShopは、次回の2020年2月に向け準備を進めています。2017年の実績は：展示面積12万㎡、61カ国から2,368社の出展者、113,000名の来場者でした。是非、このチャンスをお見逃しなくご利用ください。各種のご相談は、[こちら](#)にて。（担当：メルケ）

## drupa 2020 – 国際印刷・メディア産業展



2020年6月16日～26日（ドイツ・デュッセルドルフ）



世界の印刷・メディア産業を牽引する [drupa](#) は、次回の2020年6月開催に向けて、すでに[出展募集](#)をスタートしており、業界大手、継続ご出展者を中心に、多くのご関心・お申し込みをたまわっています。《embrace the future》と銘打ち、印刷の可能性を示す本メッセで、貴社の製品・技術をグローバルマーケットにアピールしてみませんか？各種ご相談は、[こちら](#)にてお受けしております。（担当：橋木）

上記以外の出展者募集中のメッセ情報につきましてはこちらの[メッセ・カレンダー](#)をご覧ください。また、[こちらよりお問い合わせください](#)。

## 来場者向け情報

現地の交通案内、デュッセルドルフ市内地図やレストラン・ガイドなどについての情報は [こちら](#) をご覧下さい。

モバイル機器ご利用の方に、出展者や製品検索に「Messe Düsseldorf App」をお勧めします。

[Apple](#) [Android](#)

### ProWein Asia 2018 / アジア国際ワイン・アルコール飲料フェア

2018年4月24日～27日（シンガポール）



デュッセルドルフ [ProWein](#) の「スピン・オフ」として発足した [ProWine Asia](#) は、国際性の面で本場 ProWein と近いメッセです。アジアのビジネスハブであるシンガポールにて、「Food and Hotel Asia」展と同時開催にもなります。入場が業界関係者に限定されています。まだ日本に販売されていないワインもたくさんあるので、是非、このビジネスチャンスをお見逃しなくご利用ください。（担当：メルケ）

### Metallurgy Russia 2018 ロシア国際冶金・機械・プラント・技術展

Litmash Russia 2018 ロシア国際鑄造技術・機材・キャスト展

2018年5月29日～6月1日（ロシア・モスクワ）



毎年開催の本2展は、ロシアならびに周辺諸国の管材・金属産業を代表する専門メッセへと成長を遂げ、関係者に積極的にご活用いただいています。ロシア・CIS 諸国への参入あるいはビジネス拡充に最適な本3展へのご参加を、ぜひご検討ください。事前登録などの各種ご案内は [こちら](#) （担当：ユング）

上記以外の開催間近のメッセ情報につきましてはこちらの [メッセ・カレンダー](#) をご覧いただくか、 [こちらよりお問い合わせください](#)。

#### 編集・広告に関する問い合わせ先：



(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン  
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1  
ニューオータニ ガーデンコート 7F  
Tel.:03-5210-9951 Fax:03-5210-9959  
Mail:[info@messe-dus.co.jp](mailto:info@messe-dus.co.jp)  
Web:[www.messe-dus.co.jp](http://www.messe-dus.co.jp)